

## 習志野ミニサッカー（5人制）競技規則

習志野サッカー協会4種審判部

フィールド：縦30M、横20M。センターサークル半径3M。PKマーク6M。

ゴールエリア：両ポストから外へ3Mの1/4円をとり、直線で結ぶ。

ゴール：2M×3M。パイプゴール可。

ボール：4号球。

競技者：5人、うち1人はゴールキーパーである。

競技者の交代：自由とする。（但し、主審の承認を得ること）

競技者の用具：すねあては必ずつける。スパイクシューズは使用禁止。

競技時間：大会要項に準ずる。

得点：攻撃側は、守備側ゴールエリア内からでもシュートできる。但し、キックオフ、ゴールキックからの直接得点することはできない。

オフサイド：なし。

フリーキック：相手の選手は、ボールから3M以上離れなければならない。壁を作ることは可。

スローイン：スローインには、タッチライン、コーナーの各スローがある。スローインから直接得点することはできない。

不正行為とそ：スライディングタックル禁止。（直接FKで再開）

その他注意事項 GKへの接触プレーの禁止。（直接FKで再開）

PKは、PKマークからキックし、GK以外はゴールエリアの外に出る。（ペナルティーマークから3M以上離れる）

スローインをする人の前に立って妨害してはいけない。（1M以上離れる）

コーナースローのファールスローは相手方のゴールキックで再開。

GKへのバックパス、スローインは、手で取っても可。

GKのキャッチ後のリスタートは、キーパーズローのみ。パントキックを行った場合は、キーパーズローからのやり直し。

キーパーズローは直接センターラインを越えて投げ入れることはできない。直接センターラインを越えて味方プレーヤーにつながった場合は、相手のキーパーズローから再開。直接センターラインを越えたボールが相手プレーヤーに渡った場合は、アドバンテージとしてゲームをつづける。

ゴールキックはゴールエリア内にプレスされていなければならない。

習志野ミニサッカー 審判時のポイントと心がけたい事。

◎ルールの適用は、11人制とは別に考えて、マナー指導と試合の流れを止めないことを第一に考えて、ゲームコントロールしてあげましょう。

1. 試合開始時に、服装、シューズチェック、すねあて、整列、トス、礼、入場、キックオフの仕方などを指導しましょう。センターサークルに何人以上入ってはいけないというルールはありません。  
交代は自由（再出場可）ですが、必ず審判の承認を得ることが必要です。
2. 笛は、適度に短く吹きましょう。あまり強く吹くと驚いて逆効果です。
3. アウトボールをきちんと理解させましょう。線から完全に出了たときがアウトボールです。
4. スローインを正しくさせましょう。ファールスローをした選手に何処が不可だったのか一声かけましょう。相手がスローする時1M離れること、邪魔しないことを教えましょう。
5. ファールについて、解りにくい時は取った後何のファールなのか教えましょう。
  - ハンド。どんな時がハンドか見極める。
  - 意図的なファールは95%ないので、カードはまず無く、注意しましょう。
  - よく見かけるファール。体でゴリゴリ相手を押して行く。手で押し進む。
  - フリーキックは3M離しましょう。壁を作ることは可。
  - オフサイドはなし。間接フリーキックのファールは手を上げたまま教える。
  - アドバンテージは続けましょうのコールで。
  - コーナースローのファールスローは、相手のゴールキックから再開。
  - スライディングタックは禁止。
6. キーパーについて、11人制とは別に考えてください。
  - GKへのバックパス、スローインは、手で取っても可。
  - パントキックは禁止。行った場合はキーパースローからやり直し。
  - ゴールエリア外の際どいハンドについて、最初は注意、2度目は直接フリーキック。
  - ゴールエリアを出てプレーしても可。
7. 得点について、キックオフ、ゴールキックから直接の得点は不可。相手のゴールキックから再開。
8. 最後に、指導者としての笑顔を忘れずに審判に励んでください。